

2021年度入試 合格体験記

早稲田大学教育学部英語英文学科

坂村 優樹

(Iコース・坂戸市立千代田中学校)

「受験はほぼ個人戦」

本格的に志望校を早稲田に決めたのは、三年の一学期でした。志望した理由は、単に立地と“入ったらカッコいい”と思ったからです。決めたからには行動に移そうと思い、まずは周囲からプレッシャーを貰って受験勉強に取り組もうと考え、“早稲田に受かる！”と周りに宣言してきました。それでも模試がついに最後までE判定だったり、過去問が全然解けなかったりして辛いとき(12月～1月)もたくさんありましたが、そんなときには信頼できる先生のところへ話をしにいて気持ちを保っていました。様々な苦労がありましたが、最終的には合格することができたので本当に良かったです。また、自分なりに考えて行動に移すことの大切さに気づくこともできました。

受験期の一年間を通して人に流されることが少なかったからこそ僕は合格を勝ち取ることができたのだと思います。なのであなたには、ぜひ自分で考える能力を身に付けてほしいと思います。先生が、親が、友人がこうしろと言ったからやった。という受動的な行動ではなく、他者から届いた情報を自分なりに解釈し、取捨選択をして聞き入れ、参考にしながらも自分はこうしたほうがいいなという考えをもって能動的な行動を試みてください。受験というイベントはそういう機会を与えてくれる数少ない場所でもあります。さらには受験を越えて大学生になり、社会人になった後も能動的な行動ができる人間は、自分自身の人生を自分の手でより良いものにできるはずです。僕はこれからの大学生活で自身の英語力にさらなる磨きをかけることをここに宣言します。だからあなたも僕と一緒に頑張りましょう。大丈夫、あなたならできる。

学習院大学理学部化学科

加藤龍之介

(IIコース・吉見町立吉見中学校)

「今のうちに少しずつ」

私は2年生の時に将来について考え始めました。私の兄も指定校推薦で大学に合格させてもらい、自分も指定校推薦を考えながら日々学校生活を送っていました。そのために提出物や定期テストを一生懸命取り組みました。

私は男子バスケットボール部に所属していて仲間とともに日々練習に励んでいました。家に帰ってから、長い時間勉強はしたくなかったので毎日1時間だけ宿題や復習などをする時間をつくりました。なので小テストで高得点をとることもできました。定期テストでは、部活動を理由にクラスメイトに負けたくはなかったのでテストの3週間くらい前からテスト勉強を行い、部活動をしているからこそ高得点を取れるように頑張りました。

3年生になるとすぐに活動自粛期間になってしまい好きな部活動もできなかつたけれども、自分が今できることを考えたら実力判定テストに向けての勉強だったので、先輩に勉強方法を聞いたりして期間中にコツコツと勉強していました。勉強方法は一人一人違うと思うので自分に合った勉強を行うことが大事だと思います。これからテストに限らず辛いことがたくさんあると思いますが、自分自身に勝って自分なりの進路を見つけてください。応援してます。

「志望校に受かるには」

僕が受験勉強で大切だと思うことは、目的をもって勉強をすることだと思います。毎日目的を決めて勉強をすることによって1日の勉強に取り組みやすくなるし、取り組む内容が明確になると思うからです。また、志望校を早めに決めることも大事なことだと思います。僕自身も、なかなか志望校が決まらず、何を目標として勉強を取り組めばいいのか分からない時もありました。しかし志望校を決めることによって、ゴールが鮮明に見え、より勉強に積極的に向き合うことが出来ると思います。

もう1つ僕が大切だと思うことは、自分自身に1番合うと思う勉強を見つけることです。よくネットに色々な勉強方法が載っていると思いますが、それら全てを鵜呑みにせず、自分なりの勉強方法を見つけるべきだと思います。そのためにはたくさん勉強して、自分に一番合った勉強を見つけなければならないと思うし、それによって質の良い勉強が出来ると思います。

最後に自分は2年生の2月までサッカー部に所属しており、3年生になっても色々なことを言い訳にして、勉強をさぼり、9月から本格的に勉強を始めました。今までやってこなかった分、人一倍勉強をして、遅れた分を取り返そうと思い、毎日夜遅くまで勉強しました。結果的に第1志望には受かりましたが、受験勉強は諦めないメンタルがほんとに大事だと思います。最後まで諦めずに勉強を続ければきっと良い結果が出ると思うので、後悔のないように最後まで諦めずに頑張ってください。

2021年度入試 合格体験記

立教大学経営学部経営学科

滝澤 賢勇

(Ⅱコース・北本市立東中学校)

「将来やりたいことは明確に」

僕は、自由選抜入試(旧 A0 入試)を利用して立教大学経営学部、早稲田大学社会科学部、早稲田大学スポーツ科学部の3つの大学を受験しました。結果的には全てに合格することが出来ました。その上で、自由選抜入試を利用して大学受験をする上で大切だと思ったことがいくつかあります。

1つ目は、学校の成績の重要性です。自由選抜入試では多くの場合、高校3年間の成績を大学側に提出します。つまり、1年次～3年次の成績が良いほど有利になります。僕は高校1年の頃から推薦や自由選抜での大学受験を考えていたので、定期テストや日々の学校の授業を大切にしていました。その結果、納得のいく成績で受験に挑めました。自由選抜入試や推薦入試を考えている皆さん、今からでも遅くありません。定期テストや日々の授業への意識を改めて、良い成績が取れるように頑張ってください！応援しています！

2つ目は、自分の将来やりたいことを明確にするということです。自由選抜入試には志望理由書や面接、小論文は必ずと言っていいほど行うことになります。特に志望理由書や面接では、なぜその大学のその学部ではないとダメなのかということをはっきりとさせ、大学側に自分の将来のビジョンを示した上で、その大学は自分にとって必要なことを学ぶことが出来るという事を伝える必要があります。自分のやりたいことが明確だと、その気持ちを伝えるだけで良いため、とても楽し、志望理由書などに書きやすく、面接などで話しやすいと思います。1度自分と向き合って、自分は本当は何をしたいのか、じっくりと考える時間を作ることをオススメします！さらに、志望理由書、小論文、面接は、先生や家族にお願いして、何度も繰り返し添削してもらい、練習して慣れることが必要です。本番でベストが尽くせるように頑張ってください！

大学受験というのは人生の一大イベントですよ！合格が決まった瞬間の嬉しさは、テコンドーの世界大会で優勝したときと同じくらい嬉しかったです！マジです！！もし、モチベーションが下がってしまったり、つらくなってしまったら、自分の行きたい大学での明るい4年間を想像してみてください！その思いが強ければ強いほど、受験対策に身が入ると思います。農大三高の皆さんが、自分の納得のいく結果を得られることを祈っています！そして応援しています！精一杯頑張ってください！！

2021年度入試 合格体験記

獨協大学法学部法律学科

小高 千陽

(Ⅲコース・滑川町立滑川中学校)

「準備を大切に」

私は1年生の頃は具体的な志望校も考えておらず、2年生の夏になってから3つの大学のオープンキャンパスに行きました。模擬講義などを受けると大学によって特徴があったので、気になる大学についてよく調べるべきだと思いました。部活動を優先し希望制の模試などは受けてこなかったため、最低限定期テストや小テスト、提出物はしっかりと取り組むと決めていました。授業では先生の話にしっかりと耳を傾けて、なるべく授業中に理解することが大切だと思います。

そしてもう一つ重要なのが日程の把握です。小テストや提出物の予定はきちんと把握し、前もって勉強、準備をすることで疎かにしないようにしました。私が所属していた剣道部はテストの約1週間前から休みとなるので、その期間で集中して定期テストの勉強をしていました。ここでもまた、試験日程が出たらすぐに日程を頭に入れ直前になって焦ったりすることがないように計画的に取り組むことを心がけました。特に1年生は試験科目が多いので偏りのないようするためにも役立つと思います。

私は指定校推薦を利用しましたが、実力判定テストはとても重要です。夏休み中は毎日自習室を利用し集中して勉強するようにしていましたが、範囲が広いのでなるべく早くからコツコツと1、2年生の復習をしていく必要があると感じました。1日の使い方を見つめ直し、自分に一番合う勉強方法を見つけて頑張ってください。